

120712 ザトウムシ

今回紹介する生きものは、小さな丸い豆のような体に、ものすごく長い針金のような8本の足…「ザトウムシ」です。

この虫、何故「ザトウムシ」と名付けられたのでしょうか？

その理由は…

4対の足の内、第2対の足が他の足よりも特に長く、これを触角のごとく前を探るように使う仕草が、「座頭市」のように盲目の方が、杖(つえ)で前を確かめながら歩く姿に似ているところからだそうです。

アメリカでは何と「あしながおじさん(Daddy Longlegs)」との愛称で呼ばれているのだそうです。でも…

豆粒のような体を超細長い足で中空に支え、その体を揺らしながら歩く様子は、地球外生命体(エイリアン)のように見えてしまいます。

しかも、ときどきその体を尋常ではなく大きく揺らしている様を見るにいたっては、恐怖さえ感じてしまう、というのは言い過ぎでしょうか？

その外見といい、動きといい、決して愛される対象にはならないように思いますが、あの「千と千尋の神隠し」の映画に登場する愛すべきキャラの「釜爺(かまじい)」は、この虫をモデルにしたのかも知れませんね。

☆あまり研究されていない生きものなんでしょうか、この虫に関する図鑑等の文献も少なく、種の同定は難しいです… (ザトウムシは1種類だけではなく、結構種類が多いみたいです)

◆写真①：ザトウムシ (種名不明)

◇4対の足の内、第2対の足が他の足よりも特に長いことがわかりますね。

◆写真②：ザトウムシ (オオヒラタザトウムシ?)

◇草履みたいな体つきで、やや不気味です…

◆写真③・④：ザトウムシ (マザトウムシ科?)

◇何か食べています。

◇どうやら捕まったのは「虫」みたいです。肉食なんですね…







